

5年ぶりの卒業祝賀会に集う!!

令和 5 年度 同窓吾峰会主催

祝 福島大学人間発達文化学類卒業祝賀会



第 153 号

福島大学
人間発達文化学類
同窓吾峰会 会報

今年度の評議員会は、コロナ禍で使用できなかった母校の大会議室をお借りして五月十九日無事に開催できました。本会二十七支部の評議員が年に一度、一堂に会して協議するこの会議は本会活動の指針となる最重要会議であります。今後とも各支部の変わらぬご協力をお願ひいたします。

前号(吾峰第百五十二号)でもお知らせしましたが、母校福島大学では現在大規模な全学再編の作業が行われています。全体の組織体制や教員の配置など、細部の調整で当初の計画より一年程度遅れます。全体の認可を受ける作業を着々と進めています。全体を見ると複数の学類を統合して

となる名簿刊行の業務を令和七年一月発刊の予定で進めていきます。すでに会員の皆様の元へ名簿刊行のご案



同窓吾峰会長

評議員会を終えて

峯 島 和 彦



令和6年度評議員会 2



学生歌誕生物語 4



卒業祝賀会 10



研究奨励事業表彰式 12

が、人間発達文化学類は単独で教育学部(仮称)に移行します。新教育学部の募集定員は現在より相当数減少することが予想されます。が、実現すれば平成十七年に今後の学類に移行して以来の教育学部の設置であり、我が同窓吾峰会としては将来現職・退職会員共に増加することが見込まれ、大いに期待しております。

また令和五年度の学類卒業生の公立学校教員採用者は合計八十八名でした。(福島県内は五十八名で前年は五十一名)その内訳は割愛しますが、近県での採用者も増加し、更に本県中学校教員採用者が増加(二十二名で前年は十二名)しました。学校の学級数が減少し、教員定数が減少する中で、教職に就く卒業生の増加が見られました。



令和6年度

吾峰会評議員会

金谷川キャンパスで五年ぶりに開催

令和6年度の評議員会は、五月十九日(日)に福島大学人間発達文化学類二階大会議室で開催された。五十六名の評議員が、北海道、岩手県、愛知支部や宮城県、福島県の各支部から新緑に包まれた金谷川キャンパスに集まつた。

評議員会は、関場事務局次長が進行し、峯島会長の挨拶の後、学類長の初澤敏生様から祝辞があり、福島支部の内藤副支部長を議長に選出して報告事項・議事に入つた。今年度の主な事業計画は

吾峰会いわき大会の内容が紹介された。また、いわき支部からは、吾峰会いわき大会の内容が紹介された。議案は、いづれも承認された。

一五三号・一五四号

・入会歓迎式(卒業祝賀会)

・十一月二日(土)予定

・福大ホームカミングデー

・令和七年三月二十五日

・会報発行

・本部締切九月三十日(月)

・名簿作成と名簿全体構成

・研究奨励事業

・名簿刊行委員会

・吾峰会いわき大会開催

・十月十二日(土)

・研究奨励事業

・名簿作成と名簿全体構成

・研究奨励事業

福島大学人間発達文化学類を代表してご挨拶を申し上げます。*以下「学類」三年にわたって続いたコロナ禍も昨年五月に五類になりましたことから、現在では様々なイベントも以前の通りに行われる予定ですの

大学の活動はほぼコロナ以前の動きに戻っています。現在県内の八校(来年度からは九校)がこれに属する高校から教育に関する勉強を進めることで、機会があれば是非ご参加ください。

現在、大学では大規模な再編を計画中です。学類においては教員養成を強化していく予定です。教育界は今、様々な問題に直面しています。加えて、教員志望者は激減し、多くの学校では教員が日々苦悩しています。大学の教員養成も、從来と同じことを行っているのではなく、教員養成の体制を作り上げる必要があります。新しい教員養成の体制を作り上げるためには、福島県教育委員会は昨年度協定を締結し、教員養成を強化するために様々な事業を展開することを認められました。

また、小・中学校との協力も深めています。特に現実を求められていく探究活動を充実させ、高校・大学・就職をつなぐ人材育成の体制を整えていきたいと考えています。

また、福島大学が今後も福島大学を支援ください。そのための努力を続けています。

しかし、福島大学が今後も福島県の教員養成の核であります。大学の教員養成も、從来と同じことを行っているのではなく、教員養成の体制を作り上げる必要があります。新しい教員養成の体制を作り上げるためには、福島県教育委員会は昨年度協定を締結し、教員養成を強化するために様々な事業を展開することを認められました。

また、福島大学が今後も福島県の教員養成の核であります。大学の教員養成も、從来と同じことを行っているのではなく、教員養成の体制を作り上げる必要があります。新しい教員養成の体制を作り上げるためには、福島県教育委員会は昨年度協定を締結し、教員養成を強化するために様々な事業を展開することを認められました。

また、福島大学が今後も福島県の教員養成の核であります。大学の教員養成も、從来と同じことを行っているのではなく、教員養成の体制を作り上げる必要があります。新しい教員養成の体制を作り上げるためには、福島県教育委員会は昨年度協定を締結し、教員養成を強化するために様々な事業を展開することを認められました。

また、福島大学が今後も福島県の教員養成の核であります。大学の教員養成も、從来と同じことを行っているのではなく、教員養成の体制を作り上げる必要があります。新しい教員養成の体制を作り上げるためには、福島県教育委員会は昨年度協定を締結し、教員養成を強化するために様々な事業を展開することを認められました。

また、福島大学が今後も福島県の教員養成の核であります。大学の教員養成も、從来と同じことを行っているのではなく、教員養成の体制を作り上げる必要があります。新しい教員養成の体制を作り上げるためには、福島県教育委員会は昨年度協定を締結し、教員養成を強化するために様々な事業を展開することを認められました。

また、福島大学が今後も福島県の教員養成の核であります。大学の教員養成も、從来と同じことを行っているのではなく、教員養成の体制を作り上げる必要があります。新しい教員養成の体制を作り上げるためには、福島県教育委員会は昨年度協定を締結し、教員養成を強化するために様々な事業を展開することを認められました。

また、福島大学が今後も福島県の教員養成の核であります。大学の教員養成も、從来と同じことを行っているのではなく、教員養成の体制を作り上げる必要があります。新しい教員養成の体制を作り上げるためには、福島県教育委員会は昨年度協定を締結し、教員養成を強化するために様々な事業を展開することを認められました。

また、福島大学が今後も福島県の教員養成の核であります。大学の教員養成も、從来と同じことを行っているのではなく、教



鼓笛パレード



「質の高い学び」と「持続可能な学校」の実現に向けて

福島地区小学校長会会長
福島市立福島第一小学校長

鳴原理

昨年五月

に、新型コロナウイルス感染症が五類に移行され、学校は徐々に日常を取り戻しました。今年度の入学式や運動会は、多くの学校でコロナ以前のように地域の方を来賓としてお招きし、人数制限のない形で行なわれました。本校では、今年度から運動会のPTA種目を復活させ、保護者の皆様にも運動会の種目に参加していただきました。給食もコロナ以前と同じように適切な会話を楽しみながら食事をするスタイルに、グループ活動や合唱・合奏の授業も当たり前のように行なわれています。

将来にわたって教員という職業が若者に選ばれていくためには、学校が働き方改革を推し進め、教員という職業が若者にとって魅力あるものにしていくことが重要です。

福島市では、本年四月に市教育委員会が「働き方改革推進パッケージ」未来に

に、新型コロナウイルス感染症が五類に移行され、学校は徐々に日常を取り戻しました。今年度の入学式や運動会は、多くの学校でコロナ以前のように地域の方を来賓としてお招きし、人数制限のない形で行なわれました。本校では、今年度から運動会のPTA種目を復活させ、保護者の皆様にも運動会の種目に参加していただきました。給食もコロナ以前と同じように適切な会話を楽しみながら食事をするスタイルに、グループ活動や合唱・合奏の授業も当たり前のように行なわれています。

しかし、新型コロナウイルス感染症は無くなってしまつたわけではなく、現在も「手洗い」「換気」等の感染予防対策は継続されています。感染が起こるのは防ぎようがないことなので、いかにして集団感染を防ぐか、欠席している子の学習支援をどうするかが対応のポイントだと考えています。

現在の学校の最大の課題は、人材不足だと捉えています。しかし、これは学校に限つたことではなく、多くの業種で人材不足が叫ばれています。若年層の人口そのものが少なくなる中、多くの教員像に頼らない学校的教員像を実現することが、教員と働き方改革によって献身的で、生徒会総会

（昭六三卒 福島支部）



生徒会総会

今、学校現場では…

向けた一〇のチャレンジをまとめ、市長・教育長連名のメッセージで発表しました。本市の働き方改革が目指すのは「質の高い学び」と「持続可能な学校」の実現であり、そのために、各学校では「職員会議資料等のペーパーレス化」「標準時数を上限とした授業時数の見直し」「子どもを主語にした授業づくり」「留守番電話の導入」「休日部活動の地域定期テストの在り方や評価二期制の検討」等に取り組んでいるところです。

ICT（タブレット）の活用が進められています。ICTの積極的な活用を始め、ひと昔前の学校で負の活動が多くなった中でICTを活用した授業が行われています。タブレットは常に持ち帰り、課題なども先生方が各教科のフォルダに入れて、そのフォルダから開いて進めることも多くなりました。そのため、紙での印刷が非常に少なくなりました。そのため、紙での印刷が非常に少なくなりました。

ICTを活用した授業が行われています。タブレットは常に持ち帰り、課題なども先生方が各教科のフォルダに入れて、そのフォルダから開いて進めることが多くなっています。そのため、紙での印刷が非常に少なくなりました。そのため、紙での印刷が非常に少なくなりました。



板橋竜男

福島県中学校長会会長
福島市立福島第一中学校長

デジタル化(Society 5.0)を生き抜く子どもたちのために

将来にわたって教員という職業が若者に選ばれていくためには、学校が働き方改革を推し進め、教員という職業が若者にとって魅力あるものにしていくことが重要です。

吾峰会の皆様には、今後も変わらぬご指導・ご支援をお願いいたします。

（昭六三卒 福島支部）

体験活動の復活

入学式や卒業式、文化祭などの入場制限はなくなりました。特に文化祭は、動画での配信も行い、仕事などで来校できなかつた保護者が各家庭でも見ることができます。

このように、生徒たちは、音楽で、造形で、書で、言葉で自由に表現し、思い思いに発表することができました。

また、職場体験も昨年度より復活し、二年生が福島

（昭六三卒 福島支部）

市各企業に行つて、体験活動を行うことができました。その二年生は三年生になつての修学旅行で、東京の企業に職場見学を行い、職業観を深めていきました。その他にも、中体連や合唱、合奏の大会が入場制限を特に設けることなく行われるようになりました。

新型コロナウイルスは負の遺産を残したもの、ICTの普及や体験活動の意味を見直すことができました。今後、子どもたちは、当たり前に使われるようになります。そこで、吾峰会の時代に、どう対応できるか、そんな資質・能力を育むことが大事になつてきます。そこで、吾峰会の皆様にも、今後とも、ご支援、ご指導を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

特集 学生歌「今日の世紀に」誕生物語



二〇一三年十月二十八日 繪

ミング テー 講演要旨

副会長
鈴木
隆

作詞者の浅野孔先生には、高校一年の時担任していたときましたが、本学で「今日の世紀」を歌いながら、楽譜を見るまで気付きません。

会の総会で学生歌斎唱の指揮をされている方が、指揮者の甲斐山義弘先生で、曲者の甲斐山義弘先生で、した。広報部長の私は、いかで、から「学生歌の誕生についてお聞きし、郡山支部報か作詞者と作曲者のお二人に、記事にでければ」と考えました。平成二十九年三月同窓吾峰会百三十周年記念大会が郡山市になるとい

うことで、三月号のトップ記事にすることにしました。當時、浅野先生は福島市に、甲斐山先生は郡山市にお住まいでした。お二人が同席で対談されることを期待していましたが、浅野先生は出かけるのは難しいとのことで、別々にお聞きすることになりました。浅野先生には私が森合のお宅にお伺いして、甲斐山先生に



講演する鈴木副会長

歌える歌が欲しいということが成了った。そこで評議会の承認を得て職員と学生代表各十名で「学生歌選定委員会」が組織されました。歌詞の部に二十九編の応募があり、当時学芸学部四年生の浅野孔先生の作品が入選し、作曲には十二編の応募から学芸学部三年生の甲斐山義弘先生の曲が選ばれたのです。

浅野先生は「福大のみならず、すべての学生に歌い継がれてほしい」という意気込みで作った。」とのことです。終戦後十年も過ぎない時期、周辺には戦争の傷跡が残されています。先生の歌詞「今日の世紀に」からは、平和な世界を若い私たちで作つていこうという気持ちが大きく表れていると私は読み取っています。

採用後に賞金をいただいたのですが、浅野先生は「当時の学友と全部飲んでしまった。」と言つておられました。いかにも豪快、学生らしいですね。浅野先生は退職まで高校の国語教師として教鞭をとられました。

次に、作曲の甲斐山先生ですが、生前、奥様のちか子先生から「浅野先生の詩を渡されたときに、これまでもない感動」を受けたこと。しばらくの間悩まれた

が、作曲のイメージは、東京の友達に会いに行く『汽車の中』で浮かんだ』と話していましたよ。』とお聞きしました。

書き上げた曲は、郡市民の歌の作詞などもされた作曲家の内海久二先生のご指導、さらに福島大学音楽科の西田正恵教授のご指導を仰いで完成したとのことでした。^{＊1}

甲斐山先生は、楽器のある家庭環境で育ち、戦後は自宅近くの安積高校から器楽練習の音が流れていって、音楽への関心は高かつたとのことです。奥様によると、奥様の留守中に「妻に捧げる曲を作曲していただきたいんですよ。』とつい最近訪問した私に懐かしそうに話してくれました。

卒業後の先生は、中学校の社会科の教員となり最後は中学校校長で退職されました。退職後は長く郡山支部の役員をされ、支部総会の折にはいつも学生歌斎唱の指揮をとつていただきました。『自分が作曲した『学生歌』の指揮を毎回取らせていただいだい……』と嬉しそうに話していました。体調を崩されるまで、ご自宅でピアノやエレクトーンを弾かれていたとのことです。

浅野先生は、「本当は、こ

の学生歌がこんなに長く歌われるとは思っていなかつた。」新しい世紀には新しい時代の息吹を感じさせる歌こそふさわしいと思います。今後、明日の世紀の清新の気あふれる学生歌の誕生を期待します。」と述べられていました。

甲斐山先生は「平成十九年、二十年に福大女子陸上部の大活躍^{※2}により、国立競技場に『今日の世紀に』が流れたとき、「他校の校歌に比べ、とても素晴らしい」とのお褒めのことばを多数の方からいただき、とても嬉しく思つた。」と伺いました。

平成二十年の第一回ホームカミングデーにお二人で招待を受け、オーケストラと合唱団の生のゆつたりとした演奏を聴いたときはとても感動したとのことです。この日、二人ともおしゃべりができるかと思つていまつたが、その時間もなく、「実は、学生時代も二人で会うこともなかつたのが残念でした。」と話していました。

浅野孔先生は令和三年一月に、甲斐山義弘先生は令和五年八月に九十歳で、他界されました。福島大学生及び卒業生の心に残る「学生歌・今日の世紀に」を残しました。

されたお二人に、心から感謝を申し上げ、ご冥福を祈りたいと思います。



第一回ホームカミングデーでの学生歌演奏



4×400mリレーを終えた4選手
(写真:福島民報 8/27付)

「学生歌誕生物語」に出てきた平成二十年（一一〇〇八）の出来事を、当時の会報から取り上げてみました。

会報一二一号一面に「福大初の五輪選手誕生、北京大会での健闘を期待！」。福大で壮行会が開かれ服部会長が激励に駆けつけました。

会報一二二号には「北京五輪特集号」として選手の活躍や出場後の報告会について、当時のカラーページをそのまま紹介しましたのでご覧下さい。

平成二十年は同窓吾峰会の創立百二十周年の年でした。

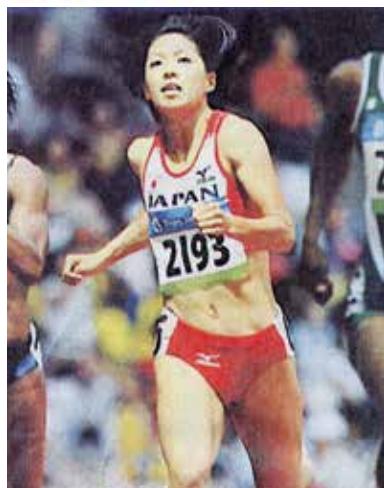
あの時吾峰人

吾峰
122号より

～打ちたてた金字塔～



400mH予選突破の久保倉選手 (写真:福島民報 8/18付)



400mを力走する丹野選手▶
(写真:福島民報 8/17付)

北京オリンピックには、福大陸上部関係の五名の選手が出場し、「鳥の巣」競技場を飛び、そして駆けるという福島大学始まって以来の快挙となつた。

千六百mリレーは、日本女子として初の出場となりしかも福大関係選手で構成されるという充実した内容となつた。川本和久コーチ（福島大学陸上部監督）のもとに、丹野麻美選手、久保

さらに陸上フィールド競技女子走り幅跳びに池田久美子選手が出場、結果は六m四七で、惜しくも決勝進出は果たせなかつた。世界の舞台で、自分の持つ実力を最大限に發揮することがいかに難しいかを痛感させられたが、今後の進化が期待される。

さすがに一世界の壁は厚く、日本女子短距離界に今後の課題を残したとはいえない、その健闘ぶりは特筆に値する。

選手たちは、「今後につながった」（丹野選手）「後輩たちに経験を伝えたい」（久保倉選手）などの力強い手ごたえとメッセージを伝えた。

吾峰会創立140周年記念版 会員名簿のご案内

会員一人一冊！福大卒業生必須の冊子

会員の皆様には、住所確認のハガキと会員名簿購入用の振込用紙が送付のことと思ひます。返信がまだの方は、間に合いますので投函して下さい。なお、紛失された方は下記宛にご一報願います。会員名簿送付は令和7年1月の予定です。

注文はまだ間に合います！

0120-934-819

二〇二四年度賀寿該當者

長寿おめでとうございます

今年度の賀寿贈呈該當者は、昭和四年四月～昭和五年三月末日生まれの方です。

富渡吉加今五猪佐丹佐野蛭田部田藤泉十狩藤治藤中田嵐
惠幹ミ義忠正順和尚儀早子男工久善實子子美子一苗様様様様様様様様様様

郡会郡岩田会い河福福南いわ山津山瀬村津き沼島島津

宮本渡斎東渡米佐菅折丹宗地多邊藤條部畠久野笠治像
五友イ幸末次仙次金三郎宮綱子悦久勇雄男衛夫三郎様様様様

郡安双福会会福田安郡福山達葉島津津島村達山島山

中白白佐石浦瀬中丸千恵郁夫信德芳正一チヨ夫夫様
阿野石田川向野戸千恵子雄和郎工子ノ夫様様様

田東福い郡会伊福福いわ村川島き山津達島島

佐藤順子様(河沼)今年五月、九十五歳となり、同窓吾峰会より賀寿の賞状と記念品を頂きありがとうございました。私は、四十七歳での不本意な退職(当時の慣例)でしたが、その後すでに四十八年が過ぎました。退職後は、地域のなかでいろいろな活動に参加し忙しく過ごしていました。お陰様でいまは、夫亡き後一人暮らしですが、地域の方々や友だちに支えられ、元気に暮らしております。



藤島昭先生は療養中でありますのでご息女・庄司淳子様に贈呈させていただきました。東京で校長となった教え子が叙勲の報告に鏡石まで来られるなど、今でも教え子達との交流が続いているとのお話をうかがいました。

◎藤島昭様(岩瀬) ◎前年度贈呈者 ◎今回紹介の贈呈者



「最近腰を痛めて...」とおっしゃいましたが、元気も奥様ともども元気に迎えていました。少し前まで養蜂をしていて、その蜂蜜などを食べていることが健康の秘訣などと話されました。

郡会郡岩田会い河福福南いわ山津山瀬村津き沼島島津

宮本渡斎東渡米佐菅折丹宗地多邊藤條部畠久野笠治像
五友イ幸末次仙次金三郎宮綱子悦久勇雄男衛夫三郎様様

郡安双福会会福田安郡福山達葉島津津島村達山島山

中白白佐石浦瀬中丸千恵郁夫信德芳正一チヨ夫夫様
阿野石田川向野戸千恵子雄和郎工子ノ夫様様様

田東福い郡会伊福福いわ村川島き山津達島島

皆様からのおたより

室井チトリ

もしました。国語の恩師の和田甫先生の二女の方の文を読み、とても懐かしかったです。

今までお逢いしていなかった貴方の写真を見て安心して戴き、感謝、感謝です。

これからは、自分を大切に

ご活躍の程。

私は、周りの者への足手

まといにならない様留意し

て、転倒しないように静かに暮らさせてもらつていま

す。

今は遺影となりし友、目前にして他界されたり、予定の名前があつたのに近況不明の方もあり、複雑な想い不寿贈呈を迎えた方が多かったです。かつたように感じました。

私は、周りの者への足手まといにならない様留意して、転倒しないように静かに暮らさせてもらつていま

(昭二三卒 南会津) かしこ



◎猪俣好巳様(伊達)

藤島昭先生は療養中でありますのでご息女・庄司淳子様に贈呈させていただきました。東京で校長となった教え子が叙勲の報告に鏡石まで来られるなど、今でも教え子達との交流が続いているとのお話をうかがいました。

交通も不便な時代夫婦協力して、教育に力を尽くしてきました。永い教員生活の中で得たたくさんの思い出があり、懐かしく思います。これからも野菜作りなど好きなことをやり、毎日元気に過ごしたいと思っています。



◎古山京子様(福島)

退職後、大正琴や書道の師範の免許を取得。特に大正琴では各地の演奏会で曲を披露してきました。曾孫は8人。一緒に住む家族4世代と共に、日々元気にお過ごしです。健康の秘訣は毎日飲む牛乳だとのことです。



◎丹治和美様(福島)

きれいに整えられた池のあるご自慢の庭園を背景に、教員時代の思い出を振り返ります。元気の源を伺つたところ「明日に希望をもつ」と即答。お歳を感じさせないはつらつとしたお姿でお過ごしました。



◎佐藤尚子様(福島)

夫が赴任した南戸沢小学校のきつい坂道で体が鍛えられたと往時を懐かしんでおられました。お部屋には息子さんやお孫さんたちの写真が沢山飾られています。現在はご主人に從順なかわいい犬と穏やかにお元気にお過ごしました。



◎五十嵐実様(会津)

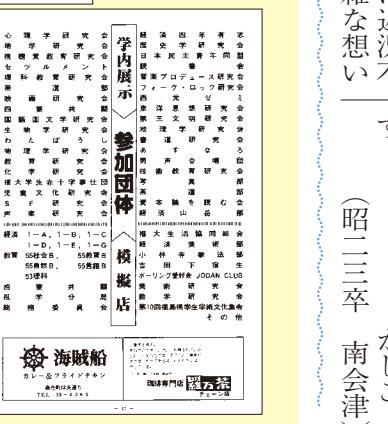
長寿の秘訣を伺うと、「好きなものを食べること」とお答えいただきました。以前はよく運動も行っていたとのこと。終始穏やかで、賀寿状を笑顔でご覧になつていました。

コロナ前までは、教え子達と旅行に行くことが多く、楽しい時間を過ごしているようでした。五十嵐様が不在でしたので、写真に代わってお孫さんの描かれた似顔絵を掲載しました。

昭和55年(1980)の福大祭パンフレットを愛知支部の山田稔様から送っていただきました。懐かしいお店の広告や所属のサークルもありましたか?

今は遺影となりし友、目前にして他界されたり、予定の名前があつたのに近況不明の方もあり、複雑な想い不寿贈呈を迎えた方が多かったです。かつたように感じました。

私は、周りの者への足手まといにならない様留意して、転倒しないように静かに暮らさせてもらつていま



中央アジアの草原を思わせる土俵での相撲大会。先輩から「葵寮のかわいい一年生がみんな朝早くから応援に出てるぞ！」と騙されて走った阿武隈川沿いの早晨の駅伝大会。実際に応援に出ていたのは、あくびをしながらの先輩の葵寮委員長一人だった。(昭五一卒) 耶麻支部

耶麻支部



我が青春の如月寮

青山
邦夫

寮費が月に六百円、食費



宮城県
栗原支部長

スクープ?



古閑裕而記念館となつてゐるその跡地を通るたびに、今でも「強者共が夢のあと」の感傷に浸る。寝込みを侵害される「部屋（へや）回り」。先輩が帰つた後、二人部屋の二段ベッドで薄い蒲団に体を丸めながら、ラジオから流れる浅田美代子の「赤い風船」や天地真理の「水色の恋」なんかを聴きながら涙していた。中央アジアの草原を思ふせる土俵での相撲大会。先づ金谷川キャンバス移転三年目。浜田町の年季の入つた旧キャンバスを知つてゐるのは四年生だけになり、たまたまに新キャンバスにのこの出かけてふらふらしていく四年生を「絶滅危惧種?」として惻隱の情を持つて記事にしてくれたのでしようね。従つて私たち五十三年ね。次入学生は浜田町と金谷川の両キャンバスを知る最後の貴重な人種として君臨しているとずっと勝手に思つてゐるといいます。

がや」と半信半疑でいたのですが、地元新聞に記事が出て戦慄が走りました。学生だけでなく、深夜巡回中の守衛さんも同じ体験をしているということで「これはマジだ。」という結論に至つたようです。新聞によるとキャンパスの敷地内に昔「刑場」があり、成仏できない靈が彷徨ついているのではないかとのこと。そこで靈を鎮めるためにお祓いをしたところポルターガイスト現象は収まつたらしくです。

出会いに恵まれ浜田原人として充実した学生生活を

一つ。福島大学に幽霊が
出た。という世にも奇妙
な物語。新聞記事になる前
から学生間ではまことしや
かに噂が広がっていました
た。大学の寮で深夜水道の
水が勝手に流れたり止まつ
たり、誰もいないのに廊下
で足音がしたりするポル
ターガイスト現象が起きて

ば小学生が奇跡的に福大へ入ったのは、英単語一つの力で、それが英語ドラマでした。入試の英語の長文読解でいつものよき解説にキーワードの単語の意味が分からず諦めかけていたその時、神の啓示か?閃いてしまいました。キーワードの解説に成功し見事に、解答がするすると出てく

た。まとめの授業では、ミュージカルの創作にループで取り組み、発表ではその感動を皆で共有した。四年時は、卒論に取り組む仲間と松川地区伝承供神楽の庭元に、横笛のほどきを受けに通い詰めた。卒論発表会での、ゼミ全員によるリコーグラ

避難所生活の支援に当たつた先生方の健康だつた。福島が大変な状況にありながら、岩手の子ども達、先生方を気遣う姿に、ただただ頭が下がる思いだつた。その降矢先生は、五年前、多くの方々に惜しまれながら永遠の眠りについた。真理を追究し、努力を惜しまない



附属小校門にて



恩師降矢美彌子
先生に捧

岩手県支部
事務局長

学生生活で一番影響を受けたのが、卒論担当の降矢美彌子先生である。三年時降矢先生は、小学校音楽の担当だった。ご自身がピアニストでありながら、地域の音楽を大切にし、わらべ唄、八丈太鼓、インドネシアのケチャ等、郷土の音楽を数多く授業で取り上げ



奥師の隣りで（右から2人目筆者）

番号	支部名	支部長名	副支部長名	事務局	事務局長名	評議員名
24	山形	堀泰治	矢口勲	〒992-1443 山形県米沢市大字笛野1101 山形県立米沢興譲館高等学校 ☎ 0238-38-4741 FAX 0238-38-2531	猪俣幸一	渡辺俊三 小野昭夫
25	千葉	活動休止中				
26	新潟	高橋信	真柄正幸・桐生春江	〒954-0056 新潟県見附市南本町1-5-24 ☎ 0258-62-2636	山本武	高橋信 山本武
27	愛知	伊勢呂彰治	齊藤俊徳・大高和人	〒491-0903 愛知県一宮市八幡四丁目1-97-708 ☎ 0586-43-7284 FAX 0586-43-7284	山田稔	伊勢呂彰治 山田稔
28	岩手県	小野寺寛	浅沼清昭・佐々木一郎	〒023-0401 岩手県奥州市胆沢区 南都田字本木158 ☎ 0197-46-3911 FAX 0197-46-3911	高橋佳文	小野寺寛 高橋佳文
29	北海道	市澤豊	菊地磯夫	〒002-8071 札幌市北区あいの里2条 6丁目3-2-1206 ☎ 011-778-7662 FAX 011-778-7662	帰家雄治	市澤豊 帰家雄治

令和6年度 同窓吾峰会本部役員名簿

役職名	氏名
顧問	服部秀文
	齋藤正寛
	千葉金之助
	初澤敏生
	会長 峯島和彦
副会長	鈴木隆
	目黒則雄
	島義一
監事	松坂知代子
	大堀満広
常任理事	野崎修司
	山寺精吉
	我彦武
	熊田喜宣
	持地隆一
	川崎康宏
	関口史子
	山縣眞二
	菅野諭
	菅野和昶
理事	飯沼信一
	鈴木昭雄
	根本眞
	鶴巻正子
	内藤良行
	佐藤和彦
	古関明善
	塚野薰
	佐々木義通
	佐藤秀美
	佐藤浩哉
	佐藤浩昭
	鴨原理
	板橋竜男
	塩田俊郎
	遠藤博晃

幹事	勝見五月
	茂木巧
	二谷京子
	佐藤秀雄
	事務員 梅津浩子

研究部

役職名	氏名
部長	熊田喜宣
副部長	内藤良行
担当幹事	茂木巧

総務部

部員	役職名	氏名
	部長	野崎修司
	副部長	山寺精吉
	会長	峯島和彦
	我彦武	我彦武
		熊田喜宣
		持地隆一
		川崎康宏
		関口史子
	梅津浩子	

広報部 会報編集委員会

役職名	氏名
委員長	持地隆一
副委員長	佐藤秀雄
委員	鵜沼秀雅
	寺岡弘之
	内藤百合子
	小山智恵子
	工藤裕也

広報部 ホームページ委員会

役職名	氏名
委員長	川崎康宏
副委員長	馬場秀之
委員	菅野諭
担当幹事	茂木巧

組織部 組織強化委員会

委員	役職名	氏名
	委員長	山寺精吉
	副委員長	古関明善
	我彦武	熊田喜宣
		持地隆一
		菅野和昶
		斎藤義弘
	委員	

積立金管理運営委員会

役職名	氏名
委員長	関口史子
副委員長	菅野諭
	会長・事務局長 事務局次長

令和6年度 同窓吾峰会支部組織一覧

(令和6年7月報告現在)

番号	支部名	支部長名	副支部長名	事務局	事務局長名	評議員名
1	福島	渋谷 朗	高橋 友憲・内藤 良行 福士 久子・鴨原 理	〒960-8254 福島市南沢又字柳清水20 福島市立清水小学校 ☎ 024-557-0135 FAX 024-558-4983	平久井 淳	渋谷 朗 内藤 良行
2	伊達	松浦 常雄	斎藤 徹雄	〒960-0781 伊達市梁川町字北本町21-1 伊達市立梁川小学校 ☎ 024-577-1124 FAX 024-577-1125	渡邊かおり	松浦 常雄 斎藤 徹雄
3	安達	高島 現	菅野眞智子・日下部善己 小泉 裕明・及川 博睦 斎藤 直	〒964-0904 二本松市郭内一丁目1 二本松市立二本松北小学校 ☎ 0243-23-0029 FAX 0243-23-0012	平野 俊一	高島 平野 現 俊一
4	郡山	大堀 満広	佐藤 久子・上杉 辰男 角田 義和・長瀬 龍男	〒963-1155 郡山市田村町守山三ノ丸1-1 郡山市立守山小学校 ☎ 024-955-3105 FAX 024-955-3139	大木 淳	大堀 武藤 満広 公夫
5	岩瀬	古田 浩	古川 久枝・渡邊 真二 佐浦 雅明	〒962-0015 須賀川市日向町115 須賀川市立西袋第一小学校 ☎ 0248-76-5131 FAX 0248-63-8517	森藤 雅之	古田 浩 渡邊 真二
6	石川	蛭田 重経	富岡ケイ子・館 初浩	〒963-7808 石川郡石川町双里字川向165 石川町立石川中学校 ☎ 0247-26-2315 FAX 0247-26-3036	石沢 泰藏	蛭田 石沢 重経 泰藏
7	田村	山口 洋一	佐久間光春・佐久間金治 菅野 正秀	〒963-7759 田村郡三春町字大町157 三春町立三春小学校 ☎ 0247-62-3101 FAX 0247-62-3106	箭内 良一	山口 洋一 箭内 良一
8	西白河	北林 正紀	佐藤 正弘・野口意千朗	〒961-0914 白河市寺小路64-2 白河市立白河第三小学校 ☎ 0248-23-3243 FAX 0248-24-0296	清野 孝	北林 正紀 野口意千朗
9	東白川	奥貫 洋	山口 弘代・永山 美雄 藤田 篤	〒963-5683 東白川郡棚倉町下山本字桃木田34 棚倉町立近津小学校 ☎ 0247-33-2154 FAX 0247-33-2175	矢吹 政徳	奥貫 矢吹 洋 政徳
10	会津	渡部 裕二	岩沢 隆・斎藤 幸男 橋本千賀子・鈴木 正和	〒965-0875 会津若松市米代一丁目5-33 会津若松市立謹教小学校 ☎ 0242-28-2100 FAX 0242-29-3405	大越 辰哉	渡部 裕二 大越 辰哉
11	耶麻	大堀 淨一	青山 邦夫・矢部 真一	〒966-0806 喜多方市水上6868 喜多方市立第一小学校 ☎ 0241-22-2103 FAX 0241-23-1673	大堀 淨一	大堀 淨一 青山 邦夫
12	大沼	石井 幸雄	佐藤 信寛・北館 長一	〒969-6214 大沼郡会津美里町富川字上中川161-1 会津美里町立宮川小学校 ☎ 0242-54-2222 FAX 0242-54-2277	伊達 明美	石井 幸雄 佐藤 信寛
13	河沼	小林 政昭	山内 聖子	〒969-6553 河沼郡会津坂下町字石田甲650 会津坂下町立坂下南小学校 ☎ 0242-83-2046 FAX 0242-83-0966	仲川 重人	小林 山内 政昭 聖子
14	南会津	五十嵐利明	山本 恭士・大竹 成子	〒967-0004 南会津町田島字会下甲3316 南会津町立田島小学校 ☎ 0241-62-0042 FAX 0241-62-3220	栗木 孝直	五十嵐利明 山本 恭士
15	いわき	金内 三郎	笛川 直樹・沢 宏一 団野 勝一・小野 則夫 平子 宗司	〒970-8026 いわき市平字梅香町7-1 いわき市立平第二小学校 ☎ 0246-23-2413 FAX 0246-23-2414	安田 茂	金内 三郎 安田 茂
16	相馬	島 義一	草野 正徳・飯塚 宏	〒976-0042 相馬市中村字大手先1 相馬市立中村第一小学校 ☎ 0244-35-3168 FAX 0244-36-8644	横山 修	島 横山 横山 修
17	双葉	石井 賢一	鈴木 孝彦・笠井 淳一 武内 雅之	〒963-8861 郡山市鶴見坦3-5-6 (臨時事務局 松本事務局長宅) ☎ 090-4314-1933	松本 浩一	石井 賢一 松本 浩一
18	東京	島貫 金雄	荒木 俊夫	〒185-0014 東京都国分寺市東恋ヶ窪2-31-21 ☎ 042-321-2277	島貫 金雄	島貫 金雄 荒木 俊夫
19	仙台	伊藤 宗男	熊谷 和彦・吉田 利弘	〒982-0261 仙台市青葉区折立4-2-1 仙台市立折立小学校 ☎ 022-226-1333 FAX 022-226-2915	千葉 慎一	伊藤 宗男
20	大河原	鈴木登志彦	大沼 章・森 貢喜 佐藤 俊憲・日下 嘉充	〒989-1758 柴田郡柴田町楢木駅西2丁目7-15 ☎ 090-7073-3794 FAX 0224-87-6626	鈴木 哲也	鈴木登志彦 鈴木 哲也
21	栗原	小野寺俊幸	佐藤 新一・狩野 浩二	〒987-2215 栗原市築館高田二丁目8-1 栗原市立築館中学校 ☎ 0228-22-3146 FAX 0228-22-2387	佐藤 一博	小野寺俊幸 狩野 浩二
22	本吉	内海 輝幸	荒川 進・斎藤 一	〒988-0183 宮城県気仙沼市赤岩泥ノ木13-1 ☎ 0226-22-5748	西城 敏幸	内海 輝幸
23	大崎(旧吉川)	井坂 亨	兵藤 正昭	〒987-0003 宮城県遠田郡美里町南小牛田 字石神53 ☎ 0229-32-3492 FAX 0229-32-3492	佐々木勝男	井坂 亨 佐々木勝男

母校 福島大学・人間発達文化学類だより



三浦学長あいさつ

卒業生代表あいさつ(要旨)
有 松 真 優

初澤学類長あいさつ

私たちの大学生活四年間を振り返りますと、やはり新型コロナウイルスの存在が大きく印象に残っています。入学式は開催中止となり、楽しみにしていた授業も最初の半年間はオンラインやオンラインデマンドでの受講から始まりました。高校生の時に思い描いた大学生活とはかけ離れたものに感じて「友達は出来るのか」、「パソコンはちゃんと使えるのか」といった多くの不安もありました。しかし、先生方の熱心なご指導やアドバイスをいただきながら

令和六年三月二十五日ウエディングエルティにて、令和五年度同窓吾峰会主催の卒業祝賀会が五年ぶりに開催されました。百三十三名の参加があり、卒業生達は、先生方や友人達と最後の語らいを楽しんでいました。最後は万歳三唱で、卒業生の新しい船出を応援しました。

卒業祝賀会を開催!!

行は、新型コロナウイルスの流行に多くの変化を

オンラインの環境に適応していました。私は、ZOOMなどを用いて同じコースの友達と親交を深めたり、課題を協力しながらやつたりするなど、ICT機器を用いた非対面型のオンライン授業が始まり、会いたかった友達と学校で対面してコミュニケーションを取ることの嬉しさ、オンラインでの新たな学びの形を知ることができました。一年生の後期から対面の授業が始まり、会いたかった友達と学校で対面してコ

令和5年度同窓吾峰会主催 福島大学人間発達文化学類卒業祝賀会次第

進行：事務局長 野崎修司

1. 開会のことば
 2. 挨拶 福島大学人間発達文化学類同窓吾峰会会長 峯島和彦
 3. 來賓祝辞 福島大学長 三浦浩喜 様
福島大学人間発達文化学類長 初澤敏生 様
 4. 來賓紹介 事務局次長 関場弘子
有松真優 様
 5. 卒業生代表挨拶 常任理事 山縣真二
 6. クラス代表の紹介 事務局長 野崎修司
 7. 学生表彰者紹介 常任理事 熊田喜宣
 8. 乾杯
 9. 学生歌齊唱 指揮者 赤坂佑介 様
 10. 万歳三唱
 11. 閉会のことば 副会長 鈴木隆
- ※ 諸連絡

は、新型コロナウイルスの流行に多くの変化を

与えました。しかし、対面型と非対面型の両面を経験した私たちの世代は、社会の変化に対応する力を身につけることが出来たようになります。また、福島という自然豊かな土地で学び、生活したことにより、身近にある災害に備える意識を身につけたり、浜・中・会津それぞれにある良さを知ることができました。



お世話になりました！



乾杯



祝宴風景



万歳三唱



大切な仲間達



いつまでも仲良く

